

平成28年度

(第1回)

徳之島愛ランド広域連合清掃事業審議会

会議録

## 平成28年度第1回徳之島愛ランド広域連合清掃事業審議会会議録

1. 日 時 平成28年8月24日（水曜日） 午後3時から
2. 会 場 徳之島愛ランドクリーンセンター 2階会議室
3. 参加者 各町清掃事業審議会委員 各町主管課長 広域連合職員
4. 協 議
  - ① 役員選出  
会長 1名 副会長1名
  - ② 議題
    - ・指定ごみ袋の価格について
    - ・大崎町視察研修について
    - ・その他

### 出席委員

- ・米良 洋子      ・満田 秀博      ・盛山 晃      ・大吉 美枝
- ・西松 哲一      ・伊藤 一弘      ・窪田 孝司      ・佐藤 光利
- ・政田 正武      ・芝田 達士

### 欠席委員

- ・田袋 吉三      ・福清 千美子

### 出席事務職員

- ・事務局長 森田 博二      ・庶務係 町本 勝也      ・総括主任 間 藤剛

(庶務係 町本)

お忙しい中、お集まりいただき有難うございます。机の上に委嘱状をお配りいたしておりますが、委員の任期が、平成30年3月31日までとなっておりますので、よろしくお願いたします。開会に先立ちまして、新しく来られた方々もいらっしゃいますので、簡単な自己紹介をしたいと思います。名簿順にお名前を読み上げます。

(※自己紹介部分は省略)

(庶務係 町本)

資料の1ページ目をお開きください。協議1、役員選出についてですが、審議会の会長と副会長の選出を行います。推薦があれば、挙手で推薦をお願いいたします。推薦がなければ、事務局から提案をしたいと思ひます。推薦がある方は、挙手をお願いいたします。

(庶務係 町本)

推薦がないようなので、事務局から提案をいたします。審議会の会長を盛山さん、副会長を米良さんをお願いしたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

(庶務係 町本)

会長に盛山さん、副会長に米良さんということで決定いたしました。それでは、議事の進行を会長の盛山さんをお願いしたいと思ひます。よろしくお願いたします。盛山会長は、会長席へお願いたします。

(盛山会長)

徳之島愛ランド広域連合清掃事業審議会の会長を務めさせていただくことになりました天城町議会議員の盛山と申します。クリーンセンターが抱える問題点やごみの分別などの様々な課題等について、この審議会で活発な議論や意見交換ができればと考えておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。それでは、早速ですが、議題に入りたいと思ひます。資料の1ページ目、①指定ごみ袋の価格について、事務局から説明をお願いします。

(庶務係 町本)

はい。資料の3ページ目をお開きください。大島郡内ごみ指定袋状況ということで、大島郡内の各市町村の指定ごみ袋の店頭小売価格が記載された資料であります。広域連合議会の中で、指定ごみ袋の価格が他の市町村と比較した場合に、高いのではないかとといった意見がありました。実際に、価格を見てもみますと、徳之島の指定ごみ袋が高いというのが分かります。指定ごみ袋の価格については、平成26年度から現在の価格に値上げを行っておりますが、値上げに至った当時の経緯として、原材料価格の高騰や消費税の増税に対

して、対応する必要があるということで、ごみ袋の卸業者などにアンケートを実施し、意見を踏まえた上で、清掃事業審議会の中で議論を行い、決定いたしております。事務局としては、現行の価格を維持して、再増税後も値上げは行わない方向が望ましいと考えております。この件につきまして、意見をいただければと思います。

(盛山会長)

何か質問等はありませんか。

(満田委員)

ごみ袋の販売に関して、どういった内訳で収入が入っているのか。

(庶務係 町本)

内訳ですが、卸屋さんが大体40円前後、卸屋から小売に対しては、約46円弱で販売しています。原材料価格が高騰するとどうしても値段を引きあげないと、卸屋さんや小売り業者の経営が成り立ちませんので、前回の増税時や原材料価格が高騰したときに、卸屋さんに要望ではないですけど、アンケートを実施したときに、今の価格ではやっていけないと回答があったようです。処理手数料を下げ、小売りの販売価格を下げることは可能ではありますが、これを下げると、こちらの維持管理に負担がかかってしまいますので、なかなかごみ処理手数料を下げるのは難しいです。

(満田委員)

処理手数料はいくらですか。

(庶務係 町本)

大のごみ袋で考えると処理手数料が、約27円弱が入ってきます。

(盛山会長)

他に質問はありませんか。

(満田委員)

今もこの袋が守られていますか。白い袋に入れてシールを貼ったりして出しているのが見受けられますが。

(庶務係 町本)

ここ最近の指定ごみ袋の歳入については、そこまで上下なくきていますが、処理手数料を上げたり下げたりすると、歳入の部分で増えたり減ったり影響を受けます。この値上げ

をした時には、こちらの収入を増やすためではなく、あくまでも現状の状態を維持するために止む無く値上げをしたという、当時のそういったいきさつがあります。なので、この価格については、現状維持が望ましいのではないかというのが事務局側の考えです。

(満田委員)

ごみの量としては、年々増えていますか。

(庶務係 町本)

今のごみの量についてですが、資料の5ページを確認してください。直近の6年前から遡っていますが、資料を見ていただくと分かると思いますが、不燃ごみ以外は、減少傾向となっています。全体処理料も減少傾向です。

(盛山会長)

減少の理由とかは、何かありますか。

(総括主任 間)

減少の理由としては、平成20年度に入ってから、三町とも道路拡張工事があったと思いますが、立ち退きなどで、建物などを壊した後の家財道具などの搬入が相当多くあったと思います。また、それらが落ち着いた後は、人口減少が少なからず影響しているかと思っています。

(米良委員)

この可燃ごみが今なんて言うんですかね。他のごみが混ざったりしているじゃないですか。そういう現状があるなら、広報なりで分別を呼びかけていけないといけないんじゃないですか。沖永良部や与論は、すごいきれいだと聞くんですよ。それはどうしたらいいのかと、これは私たちが推奨してごみをポイ捨てしないようにと言っても、成り立っていかない。

(徳之島町役場住民生活課長)

やっぱり、意識を改革していかないとどうしても、うまくいかない。

(米良委員)

第3日曜日のごみ拾いも、大体女性が多い。たぶんポイ捨てしているのは、女性より男性が多いと思う。

(大吉委員)

天城町の場合は、去年アンケートを取って、ごみをなるべく少なくしようということで女性団体に頼みアンケート調査を実施しました。各集落の小組合に頼むと回収率が少ないということで、女性連で協力してアンケートをとって、なるべく生ごみなどは水切りをしてだしましようということで、どれくらい守られているかとか、ごみの収集曜日に、違反ごみがないかなということ、腕章も付けて違反ごみがないか前向きに考えていきました。

(米良委員)

結局アンケートをとるということは、行政側が作って、女性連が回収したということですか。

(大吉委員)

アンケートを作ってですね、それを女性連が回って、回収してどういったものに対して、どういった考えがあるのか、生ごみを肥やしにするとか町としては、いくら補助が必要かなとか。そこらへんまで話ができました。

(天城町役場町民生活課長)

今それを計画しておりますので。

(米良委員)

それと、ごみの収集場所に巡回に回っていると聞いたが、あれも女性連だけで回ってるの。

(大吉委員)

1回だけは、行政の人にも立ってもらった。ごみの分別ができていないところに立ってもらいました。その後は、続いているってことではないですが、徐々にいこうかなということで、審議委員になっている方々に、こういった腕章を付けて、注意しています。腕章でもつけないと注意できないですよ。そういったことを無くすためには、審議委員であるということを町の腕章を作ったら、解決につながるのでは。

(米良委員)

徳之島町の女性連で、10年くらい前に、執行部がそれぞれの集落を回って収集を確認していましたが、今は地域によって収集が時間的なあれがあるもんだから、女性連も今はしていないですけど、ごみについての勉強会を年に2回してはいるんですけど、身になっていないのが現状。

(徳之島町役場住民生活課)

議題をまず進めて、最後にしましょうか。

(盛山会長)

このごみ袋の価格について、他に聞きたいことがあれば。

(盛山会長)

意見がないようなので、現状維持ということで決定いたします。

(盛山会長)

次に大崎町の視察研修について、事務局から説明をお願いします。

(庶務係 町本)

はい。この資料とは別に、1枚紙で行程表をお配りしておりますが、そちらをご覧ください。大崎町視察研修に関する行程表となっております。予定といたしましては、10月25日火曜日にごみリサイクル日本一の大崎町へ広域連合議会で視察する計画をしております。これに併せて、各町の清掃事業審議委員や女性連の関係者にも同行していただいて、ごみの分別がどのように行われているのかを実際に現地を見て学んでいただいた上で、各団体に持ち帰って、今後生かしてもらうための研修となっております。この研修の主旨といたしましては、先進地の分別手法を学んでもらい、それを分別の徹底に繋げていくことが大きな主旨です。視察に関する日程等の簡単な説明であります。この視察研修に関するご意見などがあればお願いします。

(盛山会長)

何か質問等はありませんでしょうか。

(窪田委員)

予定人数はどれくらい。

(庶務係 町本)

広域議会のほうで10名。職員が2名。各町にも呼び掛けていまして、清掃事業審議会の中から1名ずつ。天城町さんのほうでは、単独で他の関係者も参加されるということで、総勢で17名か18名で視察を行う予定です。視察をする場所が、そおりサイクルセンターというリサイクル施設を見学しまして、生ごみのお話しができておりましたが、生ごみを堆肥化する施設があるということで、そちらも見学のコースに入れてあります。そういったところを十分見てもらって、各団体の方で生かしていただきたいと思います。視察後に、

この審議会が年2回ありますので、2回目の中でこの研修の報告も兼ねてお話しができればと考えております。

(窪田委員)

今の話の中で、審議会が2回あるということですよ。一つ聞きたいんですけど、連合長はこの会に来ることはないんですか。

(庶務係 町本)

これまでの会の中では、事務局と清掃事業審議委員の方々と話し合っております。

(盛山会長)

生ごみを堆肥化するところを他に見るとお話しがありましたが、どこに要請しているのか。

(庶務係 町本)

大崎町内のリサイクルセンター近くにあるということで、こういう施設があるということで、最終処分場もあるということで、話があったんですが、日程の都合で時間も限られていますので、生ごみを堆肥化する施設を見たほうがいいのかということで。

(大吉委員)

大崎町は、日本一分別が素晴らしい。そういったところを視察して、自分の町に持ち帰って、徹底までいなくても、少し浸透していただければ有り難い。それを各町で。一番いいと思うところは、男の人が一人暮らしのところが多いですよ。ごみを出すときに分別もせずに、出しているところが多いですよ。大崎町を視察して、それを持ち帰って、少しでも浸透していければ。

(窪田委員)

クリーンセンターが開設した当初、ごみ袋に全部名前を書いて出さないということでしたが、名前を書いて出さない人が多い。それを含めて、改善していかないといけない。

(大吉委員)

そういったのも、結局はごみ収集業者の方もきつく言っていただかないといけない。知り合いだからといって、分別してなくても、収集日じゃないごみを持ってくる。そういったところも、行政側も収集業者にしっかりと指導してもらいたい。他の集落から、ごみを持ちこんでいる人もいる。自分の地域で出さないといけないですよとか話したことがある。



(満田委員)

それを私たちも、指導していかないといけないかもしれないですね。名前を書いてもらいたければ、徹底しないと、書いても書かなくてもいいとしてしまうと、書かないほうが楽ですし。

(米良委員)

徹底しないと、他町村から当部を抜けたところで、車から投げられたところもあると話を聞いたことがある。名前を書いたら投げられない。

(盛山会長)

大崎町の視察についてですが、前は天候不良で中止でしたよね。今回は、10月25日。天候不良の時は。今回も中止ですか。

(庶務係 町本)

前は、予算の節約ということで、各町の研修と抱き合わせで、計画しましたが、今年度は、予算を単独で組ませていただく予定なので、天候不良の場合には、日を改めて実施をします。

(盛山会長)

視察研修について、他に何か意見があれば。

(盛山会長)

バスを借りるんですか。

(庶務係 町本)

そうですね。バスを借りますので、徳之島空港を1便で出発して、鹿児島空港でバスに乗り込むという形をとります。

(米良委員)

26日の帰島については、単独で帰るってことですか。

(庶務係 町本)

はい。26日以降については、各自でそれぞれお帰りいただくこととなります。

(伊仙町役場環境課長)

天城町の場合は。

(天城町役場町民生活課長)

行政と天城町の清掃事業審議会で。

(伊仙町役場環境課長)

それは、何名で。

(天城町役場町民生活課長)

今のところ4名くらい。

(伊仙町役場環境課長)

それは、完全に町単独で。広域連合の予算では行かないってことですか。

(大吉委員)

女性団体も行きます。天城町の場合は、女性連の単独の予算でもう1名行きます。

(天城町役場町民生活課長)

定員の関係は。

(庶務係 町本)

小型バスの定員が25名となっておりますので、大丈夫だと思います。

(盛山会長)

よろしいですかね。大崎町視察研修については。

(盛山会長)

質問がなければ、③その他について、事務局の方から説明をお願いします。

(庶務係 町本)

資料の7ページ目をお開きください。審議会設置規則の改正ということで説明いたします。規則の第3条になりますが、「クリーンセンター所長」という記載事項がありますが、これを「クリーンセンター職員」に改めたいと思います。理由としては、直近の3年間、所長が不在であるということが理由であります。次に、第4条の中で、「徳之島町4人」という記載事項がありますが、これを「徳之島町3人」に改めたいと思います。理由といたしましては、平成26年度以降、徳之島町から3名での推薦となっておりますので、現在の状況に合わせる形で3名に改めたいと思います。以上の2点について、改正してもよろしいかどうかをお伺いしたいと思います。

(盛山会長)

いかがでしょうか。クリーンセンター所長を不在ということで、職員に。それから、委員の定数で4条の2の徳之島町の4人を3人ということでよろしいでしょうか。

(各委員)

はい。

(大吉委員)

クリーンセンター所長が不在というのは、何か理由があるんですか。

(事務局長 森田)

理由というか、三町の人事関係で今まで5名体制でしたが、1名減となっておりますので、それでクリーンセンター所長が減となっています。おそらく、この状況で続くものと思われま。

(窪田委員)

各町から何名ですか。

(庶務係 町本)

現在、4名です。各町から。

(庶務係 町本)

次に、もう1点なんですが、台風時のクリーンセンターの対応ということで確認しておきたいと思います。前年度の審議会の中で、台風時の対応について協議があったようですが、暴風域に入った場合には、施設を閉鎖するという決まっています。仮に午前中に暴風域を抜けた場合に、午後から施設を稼働させるか、また午後暴風域に入っている場合には、終日施設閉鎖するのか、そういったところがまだ決まっていなかったので、その点について、どうしていくべきかご意見をいただければと思います。

(窪田委員)

そういう時は、開いてるか開いてないとか、あるよね。

(庶務係 町本)

そうですね。こちらだけ閉めて、各町に連絡しないというのは、問題がありますので、閉めるのであれば、早い段階で各町へ連絡を回して、放送を入れてもらう対応が必要ですので、午前中に暴風域を抜けた場合に午後に稼働させるのか、それとも終日閉めたほうが

いいのかを決めておいたほうがいいのかなということで、確認してもらえれば。

(窪田委員)

簡単に決めたほうがいいのでは。終日しないとか。

(米良委員)

閉める方がいいのでは、暴風域に入った場合には、終日閉めているとした方が、住民に対しても分かりやすい。

(盛山会長)

閉める場合には、行政に連絡がいくわけですか。

(事務局長 森田)

町の方は、収集業者のほうに回収ありませんよとか放送してもらっているようです。

(盛山会長)

閉めたら閉めるということで。

(庶務係 町本)

事務局でも話をしたんですけど、暴風域を抜けた後も道路状況が悪かったりだとか、施設に不具合がでている個所があったりだとかも考えられます。

(盛山会長)

暴風域を午前中に通過しても、終日閉めますということで御理解をお願いします。

(事務局長 森田)

クリーンセンターから1点お願いがあります。毎年、島内の小学校がクリーンセンターのほうに施設見学に何校か来ています。ですが、大人の方々というのが、年に2、3回くらいしか来ませんので、女性連とか老人会とかが、できればごみへの意識を高めていただきたいということで、地域に帰られましたら、集落の行事のついででもよろしいですので、こちらで、ごみについて勉強しましょうかということで、そういう計画を立てて、是非このクリーンセンターを活用して欲しいと思います。御協力をお願いします。

(大吉委員)

これは、何名以上とかあるんですか。

(総括主任 間)

10名くらいでも大丈夫です。

(米良委員)

これ出前講座とかは。高齢者の方たちでしたら、それぞれの老人クラブのところでいただいた方がいいと思います。

(盛山会長)

できれば、ここに来て見てもらった方がいいかもしれないですね。

(大吉委員)

以前はですね、資源ごみからガソリンができると。それはどうなっていますか。

(総括主任 間)

それは、今止めています。

(大吉委員)

それとですね。塩ができると。あとレンガみたいのができると、ここで勉強しました。今、現在それもやっていますか。だから、ここに来て説明を受けて初めて、資源ごみから塩ができることも分かったし、そういったことも町の議員さんも分からなかった。運営委員会の中で、塩ができますよと話したんですよ。そうしたら、その塩を活用して、運動会の際に、校庭に撒いて、草を枯れさせている。そういったことができますよと、皆さんも地域に帰って、教えてもらえれば。

(米良委員)

それも、この間の広報に載っていましたよね。ごみの分別で、今までしていたものができなくなったからということで、可燃ごみで出してくださいということで。

(盛山会長)

先ほど、森田事務局長の方から是非大人の方が行くようにということで、婦人の皆さんが是非1回見ていただきたいと思います。高齢者クラブのほうにも。

(大吉委員)

大崎町の方は、何種類かに分けてみたいですけど、横浜のごみ分別はですね、きちんと分別してあれば、どんな袋でも持っていきます。スーパーのレジ袋でも。だから大崎町もそういった感じだと思いますけどね。

(米良委員)

1 1 種類とか言ってたよね。

(盛山会長)

それを視察研修に行って、島でできますかね。

(米良委員)

できないと思います。

(総括主任 間)

大崎町のすごいところは、コミュニティがしっかりしていて、空き缶などでも、サンテナを置いてあるところに持って行ったりだとか。

(大吉委員)

できないじゃなくて、できるように心を入れ替えて。

(庶務係 町本)

すみません。なかなか集まる機会もありませんので、2回目の審議会の日程なんですが、1月もしくは2月を考えていますが、2月は農繁期で忙しいと思いますが、1月の前半あたりに計画をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしければ、今の日程で、計画をしたいと思います。

(盛山会長)

他にないですかね。なければ、これで終わりますけどよろしいでしょうか。

(盛山会長)

第1回徳之島愛ランド広域連合清掃事業審議会を閉会いたします。お疲れ様でした。